

だまされてはならないこと  
福音リーダー → 前にある深いもの  
(使徒 1:1)

序論→ローマ 16:25 (使徒 1:1、前にある深いもの)、ローマ 16:26 (使徒 1:3、上のもの)、ローマ 16:27 (使徒 1:8、未来 - 永遠なもの)

▶皆さんは、レムナント大会のリーダーとして召されました。おそらく皆さんは、世の中もリードしていかなければならないでしょう。今回の皆さんのこの小さな経験が、世の中をリードしていくリーダーにしていくでしょう。リーダーである皆さんは、聖書箇所いくつかを確実に覚えていただきたいと思います。

1) ローマ 16:25 (使徒 1:1) - ローマ 16:25 は何でしょうか。世々に渡る前から隠されていたこと。それが使徒 1:1 です。

2) ローマ 16:26 (使徒 1:3) - いまや現された。これが使徒 1:3 です。

3) ローマ 16:27 (使徒 1:8) - 御栄えがとこしえまでありますように。これが使徒 1:8 だと思ってください。

▶リーダーとは何でしょうか。よくリーダーというと、皆を引っばっていく人だとかともに進むことのできる人だと理解しています。もちろんそれもそうなのですが、福音のない世の中の人のお話です。皆さんが福音を持ったリーダーになるためには、3つの条件を持たなければなりません。

①前にある深いもの - 一つ目は、前にある深い事柄を見ることができなければならないということです。これでこそリーダーになれます。

②上のもの - そして、皆さんは、世の中のものだけを見るわけではありません。上のものを見ることが出来る人です。この地上の者だけを見るようなリーダーは、ただご飯を食べて生きていくことができる程度のリーダーでしかありません。皆さんは、上のものを見なければなりません。

③未来 (永遠) - そして、私たちは、現実だけを見るわけではありません。未来のことを見ていくのです。簡単に言えば、永遠なことを見ていくのです。

▶これが時代を動かすことのできるリーダーです。皆さんは、いま伝道の始まりの段階であると思います。私はいままで 40 年間伝道をしてきました。そのように見ていくとき、皆さんが受ける祝福が何であるかを私は知っています。その受ける祝福について準備していかなければなりません。皆さんは、単なるリーダーではなく、いま言った 3つの条件を持つリーダーです。必ずこちらを覚えていただきたいと思います。

▶だまされてはならないこと→福音リーダー - 前にある深いもの

その中で皆さんがだまされてはならないのは、今現段階のことを見てだまされてはいけません。なぜなら、皆さんが受ける祝福というのは、皆さんの想像を超えるものであるもので、絶対にだまされてはいけません。もちろんだまされるからといって、私たちの祝福が無くなるわけではありませんが、非常に苦勞してしまうからです。そこで私たちが求めたい福音リーダーは、今後どんな祝福を受けることができるのでしょうか。私たちの目の前を遮っている本当に目の前にある深いことを見ることができなければなりません。これでこそリーダーになれます。

▶序論 - 世の中にある深いもの

まず、序論的に世の中にある深いことを見ていかなければなりません。皆さんは、見えるようになります。見えてこそリーダーになれます。世の中にある深いことを見ることができなければ、リーダーにはなれません。また、こういう深いところまで見ることができなければ、伝道運動をすることができません。レムナント 7 人はこれを見ていました。世の中の深いこととは何でしょうか。

1) 強大国 - 偽りの成功

▶ほとんどいま強大国は偽りの成功を成し遂げました。だから、福音が必要で、皆さんを召されたのだと思ってください。偽りの成功とはいえ、その規模はとても大きなものでした。しかし、結果的にはどのようになってしまったのでしょうか。その証拠はすでに現されています。そこにだまされてはいけません。ほとんどの人々は、このすごさにだまされてしまいます。すごいな。すごい強国だといって。しかし、彼らの未来はどうなってしまったのでしょうか。結局は、悲惨な形になってしまったのです。皆さんは、過去の歴史を見ていかなければなりません。

## 2) 7つの災いを受けたイスラエル

▶次です。7つの災いを受けたイスラエルです。どうしてここまで災いを受けたのでしょうか。その理由を知ってこそ、皆さんは答えられるようになります。答えを受けようではなく、答えられるような段階に行くようになります。いま皆さんに様々な問題があるかもしれません。それでも大丈夫です。また、難しい葛藤もあるかもしれません。実際には、大丈夫です。また、危機だと思われる部分もあるかもしれません。絶対にそれは危機ではないということを歴史が証明し、また、聖書が証明しています。さらに皆さんは、学業の面において心配になるだろうと思います。でも、実はそれも心配ではありません。学生は勉強しなければならないということがあるので心配になるかもしれませんが、通り過ぎてみれば心配ではないのです。皆さんが受けるべき祝福、答えというのは別にあります。皆さんは、ただのリーダーではなく、福音リーダーです。ですから、ものすごい祝福です。

## 3) 世の中にある深い問題

▶この祝福は続いていきます。世の中にある深い問題とは何でしょうか。これを知るべきです。皆さんもこの問題を目の当たりにしていると思います。これらの事柄について知らないでいる人、また、ただ聞いた人、そして、直接握った人では違うと思います。こちらに来た皆さんは、今後この3つのことについて見るようにさせていただきますと思います。

### (1) サタンの落とし穴、杵、罨

▶特にレムナント7人のうち、モーセはこの内容をよく見ていました。いまはどうなっているのでしょうか。世の中の問題というのは、今後も続きます。サタンが作った落とし穴、杵、罨です。この問題は続きます。これはどんな宗教も知ることのできない世界です。聖書だけが、このサタンの存在を暴いていますが、私も神学校に行ってもこれを分かりませんでした。このサタンの落とし穴、杵、罨というのは、今も続いているのですが、私は最初、分かりませんでした。私は教会でも聞きませんでした。後に聖書を通して知ったのです。聖書を通して確認し、その後に現場を見て確認しました。いまもサタンの落とし穴と杵と罨は明白に行われています。レムナンの中で神学生の方々も多くいらっしゃると思います。アメリカに行って勉強されている学生もいるのですが、本当に成績の良い学生もいます。そういう学生達は、アメリカで大学教授と討論したりすると思います。ある神学生が、アメリカの大学の教授とこのサタンの3つのことについて話しながら3団体のことを話したそうです。相手の大学教授は、世界的な神学者としてトップにいらっしゃる方です。その教授がレムナントに聞いたそうです。「そういうことをどうやってわかったのですか」。「私たちは、そういうことについてチームで訓練を受けています」という返事をするとびっくりされたようです。それで、その方は「是非一度私に会ってみたい」と話されたそうです。そのような話が通じたということは、霊的にこういう部分について分かっている人もいらっしゃるということです。でも、世の中の人々は全くこれ（サタンの3つの事柄）について分かっていません。

### (2) 見えない偶像文化

▶このサタンの3つは、目に見えない偶像文化に化けてやっています。サタンの落とし穴、杵、罨というのは、偶像文化に変わってしまっているのです。世の中の人々は、単なる文化だと思っています。

### (3) 見えない滅亡文化（私、ネフィリム、バベルの塔）

▶そして、これらは完全に目に見えない滅亡文化へと変わってしまいました。特に滅亡文化というのは、私中心です。また、ネフィリムです。そして、バベルの塔です。このように進行されています。驚くのは、長い間、聖書に記録されたことなのですが、なんといまも続いているということです。皆さんはリーダーですから、今後、世の中をリードしていかなければなりません。私の知る限りでは、皆さんがいま読んでいる本、市販されている90%以上の本は、ニューエイジ文化です。以前にもお話ししましたが、皆さんが本を読むということに対しても心配です。読まなければならない状況です。確かに本は読むべきです。しかし、読んだとしたら、ほとんどはニューエイジなのです。素晴らしい作品も多いです。また、とてもよく売られている本も、見ればとても合理主義的なものが多いです。前の時代には、「やればできる!」という主張の本がたくさんあったのですが、いまはすごく合理的な内容の本が売られています。私たちが若かった時代には、「やればできます。頑張りましょう」という本が多かったのですが、いまは非常に合理的な内容が多いです。いまでは、合理性を超えて「私」中心の本がたくさん現れます。ほとんどの本のテーマがそうです。昔の本を見ると、ほぼ80-90%が「やればできる」というメッセージが含まれているのですが、いまの時代は、ほぼ私です。「私が中心」が出ています。ミュージカル、音楽もそうです。本もそうです。絶妙な形で見えないところでこういうことが行われているということです。偶像文化に作り上げているのです。だから、皆文化だと思っているわけです。

▶これを知らずにいてリーダーになれるのでしょうか。これを知らずに正しい牧師になれるのでしょうか。

これを知らずに正しい宣教師になれるでしょうか。だから、正しい教会もできないのです。ですから、非常に急務な危険な時代を迎えました。当然ながら、これを知らないヨーロッパの教会は門を閉じています。アメリカの教会も門を閉じ始めている状態です。当然です。でも、韓国教会は、アメリカ、ヨーロッパを超える超スピードで教会が無くなっています。韓国はなんでも早く、早くという文化なので、急速に成長して早く崩れているのです。止めていかなければなりません。皆さんが止めなければなりません。これから皆さんは、正しい重職者、正しい伝道者になってください。世の中のリーダーにならなければなりませんから。これは何気に全部隠されたところで行われていますから、全く分からないのです。キャッチしなければなりません。

▶あまりに絶妙な形でこれが行われています。でも、これだけで終わっていません。分かりやすく言えば、本当に神がかりで、霊が乗り移るようなこともやっています。最近、ヒットした音楽は、すべてこれらの人々が作っています。世界的にヒットした音楽は、すべてネフィリム音楽です。私たちは流行っているから歌います。ネフィリムです。音楽も文化の一つで知らなければ遅れてしまうから歌うし、また、聞きます。あるレムナントは、こういう集会に来て、いつもイヤホンで歌を聞いています。結局は、どうなりますか。成功しようと努力したあげく、バベルの塔なのです。これが深いところに隠された世の中のものです。

▶私はこのような世界を皆さんが見ることができなければ伝道運動はできないと思います。成功もできません。ですから、多くの人々は精神的な問題が来て自殺までしてしまうのです。昨日も、韓国のある政治家が自殺をしてしまったので、世の中が騒いでいます。少し間違っているなという部分もあります。マスコミを見ると自殺することが良いような雰囲気を与えます。ある意味、自殺者には、人間扱いしてはならないと思います。大きな誤りでもなかったのに自殺してしまいました。他の政治家に比べるとそんなに大きな問題を起こした政治家でもありませんでした。だから、いまの若者たちが自殺を簡単に考えて、ちょっと何かあると自殺してしまうのです。自殺は霊的な流れの中で行われているものであるために、とても大きな問題です。

▶この世にはこれほど隠されたところで問題が流れています。いまから皆さんは、一度音楽の世界をよく分析してみてください。特に外国の有名な音楽を分析してみてください。この3つ（私中心、ネフィリム、バベルの塔）がそのまま出てきます。結局、有名なミュージシャンは、自分が崩れることは考えませんから、ただバベル塔を建てることしか考えていません。この人たちはものすごい私中心のメッセージを教えています。皆さんがもしも読めばすぐにはまってしまうくらいになっていくでしょう。つまり、意味のない私を捨てろということです。①意味もなく生きてきた今までの私はもう捨てましょうというメッセージです。そして、何ですか。そんな私を捨てた後は、②本当の私を見つけましょうと教えます。本当に気に入る言葉でしょう。そして、③番目にする話があります。最終的に、③あなたという存在がすべてだと教えます。そこで創世記3章が表面に現れるわけです。あなたが神のようになるのだ。これが創世記3章です。これがニューエイジ思想です。宗教もいらぬ。信じる必要はない。あなたが神のようになるのだ。仏教で言っている唯我独尊、私がひとり唯一の存在だということ、私の存在自体がすべてだと教えます。この思想は、古くからありました。創世記3章、6章、11章は昔からありました。すべてを捨てなさい、解脱と言います。同じ言葉です。私は世にあってたった一人の存在。この言葉は脈的には同じ脈です。こんな形で全世界がサタンの虜にされています。そこでどうして使徒1:1であるのかを理解していかなければなりません。

▶私は、エステルさんに尋ねてみました。伐草（お墓の雑草を刈ってきれいにすること）がなにであるかわかりますかと。おそらく外国から来た方はよくわからないかもしれません。韓国は昔、共同墓地ではなく、亡くなった人を土葬するのに個人的に小山を作ってそこに葬りました。その後、お墓の山に草がいっぱい育つので、そのお墓の草を刈る作業を伐草と言います。子孫たちがお墓に行って、その草を刈るのです。韓国のことわざに、「妻の叔父の墓を伐草する」というのがあります。妻の叔父が亡くなって葬られているのに子どもがいないので、その叔父さんの墓を管理してくれる人がいません。息子や娘がいれば墓を管理してくれるでしょうが、草を刈ってくれる人がだれもないわけです。主に男性が行くべきなのですがいません。ところで、その亡くなった叔父さんには姪が一人いました。姪は女性です。だから、その姪が旦那さんをお願いするわけです。うちの叔父さんのお墓がどこどこにあるけれども、いますごい雑草が生えていてきれいに刈れないといけないう。けれども、旦那さんは、叔父さんが誰だかも分かりません。既にとっくに亡くなられている方で、どういう方かもわからない。愛する気持ちもありません。ただ自分の妻をお願いしたから行きました。だから、適当にざっと草を刈ります。それを韓国のことわざでは、「妻の叔父の墓を伐草する」と言います。教会が福音をそのように適当に知っています。

## ▶本論 - 福音の深いこと

これから皆さんが受ける重要な答えとレムナント 7人が世界を征服した理由です。この福音の深いことを知るといことです。昔からあった深いことを知るといことです。こういう人たちがリーダーになれます。これは単なる話ではなく、皆さんが一生生きていく中で答えられるか、答えられないかの重要な部分です。皆さんがこれから世の中を生かすリーダーになれるか、なれないかというくらいの重要なポイントです。いままで皆さんが聞きたいいろいろな事がらを全部捨てて、ただ唯一神のみことばの中に入れてください。すべての理論は正しいように見えますが、実は間違っています。それらは霊的問題を解決することができません。どんな理論をもこのサタンの問題を解決できません。今回のテーマソングにも書いてあったように、どんな英雄をもサタンの問題を解決できません。どんな強国でもサタンの問題は解決できません。確実にそうです。それで、神様は皆さんを召されました。特に韓国には、外国から多くの方々が訓練を受けに来ていらっっしゃいます。いろいろなことを尋ねたり、学ぼうとしていました。いつも私は、外国の人に対して思う気持ちがあります。「この人は伝道者にはなれない」。伝道者になれる人は、ぱっと見てすぐに分かります。

## 1.結論

▶福音を聞いた途端、結論が出るからです。皆さんは、これから決断を下していかなければなりません。それで、聖書には、どんな結論が下されているのでしょうか。

1) 3つの祭り - 3つの祭りについて記録されています。

2) 3つの事件 - 3つの事件です。

3) 3つののろい(キリスト) - そして、3つののろいの話です。

▶さて、3つの祭りとは何でしょうか。過越し祭り、五旬節、収穫祭です。

3つの事件とは何でしょうか。カルバリの丘、オリーブの山、マルコの屋上の間です。

3つののろいとは何でしょうか。サタン、地獄、災いです。

この部分を解決された方がキリストです。

▶キリストで十分、完全

そこで問題は何ですか。これから皆さんが受ける答えでもあれば、これから来たる答えでもあります。皆さんが教会を生かす、世界を動かすリーダーになるためには、この答えを受けなければなりません。3つの事柄について、完全結論を下すとします。その結論がどうなるべきか。キリストで十分でなければなりません。キリストで完全な状態でなければなりません。これこそがリーダーです。私たちは、キリストで結論を出したと言っていますが、日頃の生活において、キリストでは十分ではないのです。キリストで完全ではないのです。ですから、サタンにまた負けてしまうのです。いま皆さんが理解できなくても結構です。なぜなら、これからの皆さんは、世界を動かすリーダーとして、リーダーに限ってくる答えがキリストの答えですから。ヨセフはいままで世界中の人の前で自分の証しをしたことがありません。しかし、「主が私とともにおられる」と告白しました。ダビデも「主が私の羊飼いであるから何も乏しくない」とそう告白しました。必要なものはないと。この告白が暗やみを打ち砕く大きな答えです。パウロはどのように告白したのでしょうか。すべての事がらをちりあくただと表現しました。あれだけ世の中の人々が求めるすべての事がらをちりあくただと言ったのです。それはものすごい霊的告白です。

▶果たしてこれからの時代を誰がリードするのでしょうか。この残された時代を誰がリードできるのでしょうか。どの団体がリードするのでしょうか。これが鍵です。神様は、そんな時代の中でどうしてレムナント運動を許されたのでしょうか。どうして神様は、世界のレムナントを起こしているのでしょうか。神様は、なぜリーダーを召されたのでしょうか。簡単です。こちらには牧師先生方がいらっっしゃいます。果たしてこの子どもたちに、次世代になにを残して行くのでしょうか。雑多なサタンのものを残して行くのでしょうか。たとえ私たちが欠けているとしても、私たちはいろいろと物足りない部分があるとしても、本当のものを残していかなければなりません。キリストがもし分からなければどうなるのでしょうか。キリストが分からなければ、サタンに負けるだけではなく、教会そのものが消えてしまうのです。この時代は危機です。危機の時代に神様は皆さんを召されました。神様は全能なる方なのに、教会はいま門を閉じている状態です。キリストは、すべての問題の解決者だと言っているのに、クリスチャンがさまよっています。どうしてでしょうか。実は、この結論の部分で答えが下されていません。皆さん、これからこの結論の祝福が来ると思います。リーダーです。単なるリーダーではありません。世の中を生かすリーダー、福音リーダーです。すべてのレムナント、世の中を生かし7つ災いから救ったレムナントは、このリーダーであったのです。勉強を非常に多くしたエリートのパウロも、福音を悟った後、自

分が学んだすべてをちりあくだと言いました。このようなレムナントが皆さんの中で起こされることを願います。成功してください。そんな成功程度はちりあくだと言えるくらいになってください。

## 2.結果

▶2番目です。どうしてただキリストなのでしょう。キリストによる結果を知っているからです。キリストによる結論が下されているならば、その結果も知っています。それがリーダーです。結論が分からなければリーダーにはなれません。実際、道をガイドする人は、目的の道のゴールを知らなければ案内することはできません。

では、結果は明らかです。

1) 苦難 - すべての人は、苦難の中に陥っています。

2) 災い - すべての国は、災いが臨むようになります。

3) 世界福音化 (マタイ 24 章、マタイ 25 章、Ⅱテモテ 3 章、ヨハネの黙示録) - だから、神様は世界福音化を置いて、皆さんを召されました。

▶聖書は証ししています。マタイ 24 章を見ますと、世の中の終わりの時代、混乱の時代が来ると言われています。マタイ 25 章を見ますと、教会がおかしくなってしまう時代が来ると言われています。Ⅱテモテ 3 章には、苦しみの時代が来ると言われています。ヨハネの黙示録には、混乱の時代が来ると言われています。そこでこの預言のみことばを朗読する者、聞く者、守る者は幸いであると言われています。それでは、この部分の理由をどこで見つけましょうか。

▶今回のメッセージは、来る答え、受けなければならない答えであるため、常に持参してください。

## 3.過程 (祝福の土台)

▶結論がわかって、結果が分かったならば、なにが見えますか。過程が見えます。そうでなければ、絶対に過程は見えません。この過程が分からなければ、小さな問題でもつぶれてしまいます。少し何か起これば揺れてしまいます。物事の霊的なプロセスが分からないからです。それでいつも騙されてしまいます。道を知っている人は、道路で走っていて渋滞したとき、どちらの方向へ行けばいいか分かります。ただナビゲーションだけに頼って運転する人は、道が渋滞に巻き込まれると行くところが分かりません。この頃のナビゲーションはすごく発達していて、混まない道を案内したりもしますので、最近では道を探すのに問題はないように見えるかもしれません。しかし、霊的な道というのは過程があります。

### 1) レムナント 7 人の問題

▶過程を知っているレムナント 7 人の問題は何だったのでしょうか。問題ではなく、すべて過程だったのです。過程でした。ここが重要です。皆さんの現実で良いことも悪いこともあるかと思いますが、それはすべて過程に過ぎないのです。皆さんにきた答えも過程であり、そして、困難も過程に過ぎません。だから、騙されてはなりません。世の中を生かすリーダーは騙されてはいけません。度々騙されてしまいます。皆さんは騙されてはいけません。そのための秘訣は何ですか。ありません。騙されなければいいわけです。皆さんは世界を生かすリーダーとして神様が召されました。

▶ヨセフにあった問題は、家庭問題だったのでしょうか。問題ではありません。今日から皆さん、家の問題、傷、捨ててください。捨てなければどうしようもありません。結局、崩れる時というのは、なにかのわなに引っかかっているもので崩れていきます。だから、全部捨ててください。家庭の問題であろうとなにかの傷であろうと、それをずっと抱えていると、結局、それによって崩れます。だから、全部捨てることです。すべて祝福の過程なのです。家庭問題を抱えて訓練を受けに来ている方がいらっしゃると思いますが、皆さんはリーダーです。その問題がお証しできるほどの証人になるべきです。ある大統領は、金銭問題でトラブルになり刑務所の中に入った方がいます。その人の場合は、子どものときにお金に対する傷があったのです。その傷をもっていると、ある日、決定的瞬間に引っかかるのです。自分がすごく努力して苦勞して成功はしたものの、その努力の過程が傷でした。傷を抱えているけれども大変なときこそ頑張る生きようと思っています。だから、自分みたいに頑張っている人、苦しんでいる人、かわいそうな人を助けて正義感のある人になろうと思ったのですが、お金の問題に引っかかっている。自分に正義もなくなってしまうのです。そして、世の中にそれがばれてしまったので耐えられず、その大統領は自殺してしまいました。

▶皆さんの傷、これが祝福の過程です。この部分が本当に祝福の土台です。必ず記憶しなければなりません。福音を持っている、福音を今後伝えていくリーダーは、すべての問題は過程であり、それも祝福の土台です。あえてこれを皆さんに話す理由は、知らなければその問題によってつぶれてしまうからです。

▶モーセの問題は何だったのでしょうか。モーセは想像も絶する問題、自分の問題でもない国の問題で殺されそうになってしまいました。モーセが 80 歳になるまで、その傷に捕えられていました。また、サムエルに來た問題は何でしたか。教会の問題です。皆さんは、そのような問題に絶対に捕らわれてはいけません。問題、傷に捕えられると、靈的成長はそこでストップします。皆さんがいま言った部分について更新だけでも十分リーダーになることができ、世界のリーダーになることができると思います。私は 40 年間、自分が感じた伝道運動の内容を圧縮して皆さんに伝えているので、ある意味、消化不良になるかもしれません。また、私が経験したことを話すですぐ理解できるかもしれませんが、これは私がした経験ではありません。神様がくださったことなので、皆さんがぱっと理解できないかもしれません。また、世の中の事柄を全部例に挙げて話すですぐ理解できるかもしれませんが、これは世的なことではありません。世の中が解決することはできないために、すぐにぱっと來ないかもしれません。けれども、逃してはいけません。

▶あるときテレビを見ていたら、ガタイのいい男の人が出てきて、大きな岩のような石を手で壊していました。それで、韓国で合気道とかの運動の選手を呼んで、この男の人と対戦させました。大きな石を真ん中に置いて、合気道の強い人がやっても 1 個しか壊すことができませんでした。他の力の強い人にもやらせてみましたが、1 個もまともに壊すことができませんでした。ところが、この男の人は 2 個の石が置いてあったのですが、2 つとも真っ二つに割ってしまったのです。この人は何をしているのかと番組を見ると、昼夜を問わず手で石を打っていました。それで有名になってテレビに出てきたのです。ある面白い人は、自分の手を振るとハエを 30 匹捕まえます。少なくとも 10 匹は捕まえます。知ってみると、その人の職業は、食堂のオーナーでした。私たちの頭のしくみというのは、このような情報で組織されています。理解が速いでしょう。お話してすぐ理解したから笑うでしょう。私がメッセージしている内容は、そういう内容ではないということです。これは世の中の人々が理解できる話ではありません。福音を持った世の中を生かすリーダーのみが理解できる内容です。

## 2) 時刻表、道しるべ、目標

▶さて、結論、結果が分かるならば過程が分かる。そこで皆さんが持っている問題は全部、時刻表、そして道しるべです。そして、それこそが目標です。つまり、全部ゴールするまでの過程に過ぎないということです。まったく心配する必要がありません。

## 3) 序論の人生、本論の人生、結論の人生

▶それで、皆さんが行くところには、必ず、いつでも 3 つのことがあります。これを早く区別してください。3 つというのは、私たちの人生はまず、序論の人生があり、本論の人生、結論の人生があるということです。私たちは、この 3 つの人生を早く整理すべきです。すべては過程です。これらはすべて皆さんの答えです。誰も理解できない世の中の深いところを本当に理解し解決するリーダーとして、神様が皆さんを召されました。

## 結論 – 器の準備を始めてください

▶いまから皆さんが始めるべきことは何でしょうか。器の準備をしてください。それはどんな準備なのでしょう。皆さんは、いま言った内容について知っているリーダーであり、知るだけでなく自分のものとして答えられようになるリーダーです。

### 1) キリストの大使

▶誰がなんと言っても、皆さんはキリストの大使として召されました。誰も理解することのできないキリストの内容を説明することのできる大使として皆さんは召されました。ですから、どんな問題が來ても絶対に心に留めてください。キリストの大使であることを心に留めてください。そうすると、皆さんがキリストの大使であるため、皆さんによって身の周りのすべてののろいは崩れます。皆さんの周囲の暗やみ崩れるようになります。神様は私をキリストの大使として召されました。確実です。皆さんが、いまこれが信じられないとしても事実です。神様が皆さんをキリストの大使として召されたという事実を悟ったその時から、暗やみの勢力は打ち砕かれます。これを悟る、悟らないというのは紙一重の差なのですが、悟ると御働きの起きます。

▶私は以前にもお話しました。なぜ私たちは生きていく中で大変なのでしょう。また、生きてきた中でも、嬉しいこともあったでしょう。また、皆さんが生きる中で本当にあの時は幸せだったなというときもあります。それから、人生ですから傷もあります。ところが、私は、父親が亡くなった時もそんなに傷ではありませんでした。なぜなら、長い間、父は病気だったので、いつかは亡くなるのだろうと心の準備ができていたからです。あらかじめ予想をしていたので、そんなに大変ではありませんでした。いまでも一番記憶に残る恥ずかしいことがあります。突然、軍隊に行くようになりました。結婚して年

をとってから入りました。当時の朴正熙大統領が指示をしました。それはいいアイデアだったと思うのですが、民間防衛兵の人たちの中で少しブレーンの兵士たちを選んで特別な兵士としてチームを組むのはどうかという指示でした。その制度が何年間か行われていたのですが、その制度の中に私は引っかかったわけでは、普通、民間防衛兵というのは、そんなに大変ではないのですが、私がそこに引っかかってしまったので1年を通してずっとハードな訓練を受けるしかありませんでした。実際の兵士のように作戦も行いました。私は、神学校に通っている中で行ったのです。本当に大変でした。結婚もして家庭もあるうえに神学生の身分でしたが、突然、訓練を受けなければならない。だから、本当に正気ではありませんでした。なにが大変かという、軍隊に行くと、私が誰なのか、それがわからないのです。上から殴られるとかは頻繁にあることでした。軍隊はおかしいところ。例えば、あちらにいる賛美を導かれた牧師先生のようにハンサムで背も高い人たちは、一番前に並びます。では、私はどこらへんに並ぶでしょうか。私は一番後ろに立ちます。列の一番後ろというのは、本当に大変でした。私たちは人間扱いされません。当時、私たちに与えられた銃は、アメリカの銃でM1と言われる長いものでした。私はそれを持つだけで地面に届く、引きずってしまうのです。銃を持つだけで長くて重たい。殴られる。乱暴的な言葉を浴びせられる。自分が誰だか分かりません。ですから、自分の心の良心、思いはとりあえず保管しておき訓練を受けて、帰ってくる時にまたプライドなどをくっつけて帰宅するような感じでした。だから、その1年間というのがとても長く、私の人生において本当に忘れることのできない大変な時代でした。50分訓練を受けて、10分休む、その繰り返しでした。一日中毎日です。この中にもそのような訓練を受けた人はいるでしょう。その時です。一瞬だけ、私はどうしてこうなのだろうと思いました。私は伝道師ではないのか。私はどうしてこうなのか。違う。神様が私をここに送られたのは救われるべき弟子がいるということだ。それを思ったのです。10分の休憩中にその考えがよぎりました。キリストの大使、これは何でもないことです。その考えを誰ができないのでしょうか。このときから答えられるようになったのです。どんな答えが始まったかと言いますと、私の部隊の部隊長が、私を通してキリストを受け入れました。その部隊長のストーリーは全部説明しきれませんが、私の部隊長がキリストを受け入れました。この部隊長が毎日私を自分の部屋に呼んでは聖書の学び会をして勉強しました。私が隊長の部屋を自由に出入りしているので、周りからおかしく見られました。私の部隊に配置された人数は2-3千人ほどいたのですが、毎週その人たちにメッセージをするようになりました。奇跡的なことです。どうやって私の身分でその人たちを相手にメッセージができるのでしょうか。神様がそうできるように事件を起こしてくださったのです。本当に不思議です。その隊長さんも普通に受け入れたわけではなく、本当に飢え渴いた状態で受け入れました。ですから、皆さん、覚えてください。キリストの大使だということを。

## 2) 62

▶皆さんがいまこの器を準備をするなら、行く所々に神の国、聖霊の御働きが起きます。

その時、なにが見えますか。天命が見えます。

その時に見えるのが当然、必然、絶対が見えます。

その時から一心、全心、地獄が見えます。

この器の用意です。ただ、唯一、再創造が見えます。

その時から24時、25時、永遠が見えます。

この時から祈りが始まります。

この時からなにが見え始めますか。タラントが見えます。

この時から世の中を変える流れが見え始めます。

この時から世界を征服する20の戦略が見えます。

## 3) 証人

▶証人です。このようになります。

▶ここ(上の2)番)に出てきた私が受けた答えが62個だということです。神様の祝福は62個なのでしょう。これ以上もあります。でも、たくさんの祝福の中で本当に味わえるようになった部分が、この62個だということです。証人です。

▶皆さんのことを時代を生かすリーダーとして神様に召されました。今夜はリーダーになるための上のもが見えなければなりません。そして、最終的に、リーダーになるために未来が見えなければならぬということです。皆さんの学業もこの3つの中でやっていただければいいと思います。勉強ができる、できない関係ありません。世の中の深いもの、上のものを見なければなりません。これを除いて成功したり成績が一位になったとしても意味がありません。例えば、ちょっと成績が悪いという学生さんは、この3つの中でビリになるなら構いません。そのようなビリは意味があります。

さて、皆さん、リーダーとして、今日、胸の中に刻んでください。そして、時代をリードしてください。この夏は本当に暑いので、今回のリーダー修練会は大変だと思います。しかし、このように覚悟してください。私はいま、世の中を生きかすために一番重要な訓練場に来ていると思ってください。皆さんの家庭、教会、時代をリードするための訓練場に来た。そして、私はリーダーだと思ってください。

(祈り)

すべての問題の解決者であるイエス・キリストの恵みと神様の大きな愛、聖霊の御交わりとが時代を生かすリーダーとして召されたすべてのレムナントの上に、いまからとこしえまでいつもともにありますように。アーメン